

令和8年3月22日執行 和水町長選挙公報 和水町選挙管理委員会

まずは、暮らしを守る。

和水のお金は、町民の為に使います。

全町民への10万円支給（地域通貨）

物価高で町民の暮らしは厳しい、今だからこそ、地域経済の循環と生活支援を両立させます。財源は既存事業の見直しと基金の活用により実現可能な設計で着実に実行します。

町長給与20%カット（任期中）

まずは、自ら身を切る改革を進めます。

子育て、福祉、地域経済へ重点支援

子育て世帯と高齢者を守る支援の充実。地域経済の再生。町政の透明化を進め、大型事業や委託契約の検証を徹底。

若さは行動力

和水町の未来は、「暮らしを守る政治」から始まります。私は議員として、町の予算や事業を検証し、説明責任を求め続けてきました。しかし、議会という立場では、守りきれない現実があることにも直面しました。だからこそ今、評価する側ではなく、責任を持って実行する立場に挑戦します。

和水ファースト「町民の暮らしが、いちばん」



あらき
荒木こうた
山梨学院大学
法学部法学科卒業
41歳

和水町の未来をつくる まちづくり7つの政策

- 1 安心安全な暮らしを守る**
自然災害、感染症、物価高騰など、あらゆる危機から皆さまの暮らしを守ります。
- 2 子育て支援・教育環境の充実**
子ども子育て応援宣言のまちとして、子育て応援プランをしっかりと継続、発展させます。
- 3 活気とにぎわいを生むまちづくり**
町の魅力発信とあわせ、和水町への人の流れをつくり、活気と賑わいのあるまちづくりを進めます。
- 4 高齢者の方々が安心して暮らせる環境づくり**
高齢者の皆さまがこの住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくりを進めます。
- 5 農林業や商工業の支援と活性化**
農林業の付加価値化、農地を守る仕組み、商工業の振興により、地域経済の循環と持続的な発展を実現します。
- 6 災害に負けないまちづくり**
頻発する災害に備え、インフラ強化と地域防災力の向上を進め、誰一人取り残さない安心安全なまちを築きます。
- 7 町民に信頼される役場づくり**
町民の皆さまの思いや願いが町政に届く仕組みづくり、町の情報発信、皆さまに信頼される役場づくりに取り組みます。

令和4年3月、多くの町民の皆さまのご信任をいただき、和水町長として町政の舵取りを担わせていただきました。町の課題である人口減少、少子高齢化対策、町の知名度向上施策に重点的に取り組み、人口社会増の実現やふるさと納税額の大幅増加など確実に成果が見え始めています。しかし、和水町の挑戦は、まだ道半ばです。人口減少、少子高齢化への対応、物価高騰対策、地域経済の活性化、防災・医療福祉の充実など、乗り越えるべき課題があります。

だからこそ、これまで築いた基盤を土台に「次なる一歩」を踏み出し、「成果を完成させる4年間」にしなければなりません。

若者が帰ってきたくなるまち、子どもたちが誇りを持てるまち、高齢者の皆さまが安心して暮らせるまち。そして、町民の皆さまをはじめ、農業や商工業も元気な、活力ある和水町を「まちづくり7つの政策」のもと、必ず実現してまいります。

未来につながる和水の挑戦、次なる一歩へ！

プロフィール
昭和48年9月4日生まれ(52歳) H9.4 菊水町役場入庁
菊水中央小学校、菊水中学校卒業 R3.12 和水町役場退職
玉名高等学校、熊本学園大学卒業 R4.4 和水町長就任、現在に至る

活動報告や動画配信はこちら

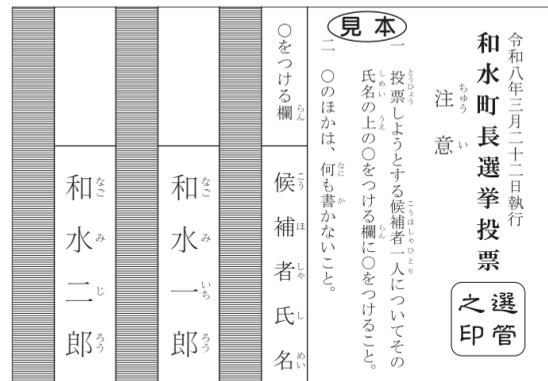


いしはら
石原よじゆき

(この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

町長選挙は記号式投票です。

- 投票用紙に候補者の氏名が印刷してあります。
投票したい候補者ひとりの氏名の上の欄に○をつけて投票箱に入れてください。
- に塗りつぶしたり、二人以上の候補者に○をつけたり、○のほかに×や文字などを書いたりすると、その票は無効になります。
※ただし、期日前投票・不在者投票は自書式投票です。



みんなで行こう。明るい選挙



「選挙のめいすいくん」

- 明るい選挙推進運動のイメージキャラクターです。
- 体は、投票箱がモチーフです。

和水町長選挙投票日は **3月22日(日)** 午前7時～午後7時

この選挙公報をよく読んで、大切な一票を投じましょう。